第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会競技課題に関する問合せに対する回答

競技部門名　化学分析　部門

【　問合せ内容　】

1　「報告書１（EDTA のファクター計算及びラベル）の記載」について

　競技スケジュールを見る限り、EDTA 標準溶液は各自が調整するのではなく主催者側で準備したものを使用すると読み取れるのですが、その場合、報告書１で EDTA のファクター計算に使用する(1)エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム水和物の秤量の部分の値は、主催者側から提示されると考えてよろしいのでしょうか。

【　回答　】令和８年(2026 年) 9 月 25 日回答

1　選手が滴定に使用する EDTA 標準溶液は、課題３(1)に記載のとおり「事前に大会事務局が調整した 0.01mol/L EDTA 標準溶液を使用する。」としております。

　また、課題８ページ「報告書１（EDTA のファクターとラベル)」(1)に記載のとおり、「①秤量びんの質量」と「②EDTA・2Na＋秤量びんの質量」の「※数値が記載されている」ので、その値を使って EDTA のファクター計算をすることになります。

【　問合せ内容　】

1　競技全体の時間計測は競技会場内のデジタル時計でされるかと思います。カウントダウンでの表示でしょうか？

2　技術審査のタイミングで別会場に移動とありますが、各選手 20 分間は必ず試料水の測定作業から離れることになりますか？あるいは、技術審査が 20 分よりも早く終わった選手は終わり次第会場に戻るのでしょうか？（速やかに戻るとありますが）

3　技術審査も含めて２時間（120 分）つまり、試料水の測定作業は 100 分で合っていますか？

【　回答　】令和８年(2026 年)10 月 15 日回答

1　主競技場は 60 分のカウントダウン表示を２回繰り返します。また、別室技能審査会場では、グループごとに 20 分のカウントダウンを表示します。

2　別室技能審査の開始１分前に選手番号で呼び出しますので、その際に別室へ移動してください。別室技能審査は、各自、課題が終了した時点で主競技場に戻り、試料水の測定作業を再開することができます。そのため、課題を速やかに終了することで、試料水の測定に充てる時間を長く確保することができます。

3　別室技能審査の時間を含め、競技時間は 120 分です。別室技能審査の実施順は 11 月 14 日（土）に行う抽選によって決定します。選手は、主競技場では試料水の測定作業を行いながら、別室技能審査の開始時刻に合わせて移動することになります。

　なお、別室技能審査に要する時間は選手によって異なります。例えば、別室技能審査を 10 分で終了した場合は、残りの時間を試料水の測定作業に充てることができるため、最大で約

110 分を測定作業に使用できることになります。

【　問合せ内容　】
第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会化学分析部門課題（5/29訂正版）について
1　p. 4、p. 6(12)に記載の「測定結果報告書」と「計算メモ用紙」の提出をもって競技終了とする。とのことですが、「計算メモ用紙」の用紙サイズを教えてください。また電子データの配布をお願いできればと思います。

2　p. 6(7)に記載の天候、室温、湿度等の環境項目は掲示された値を記入する。とのことですが、掲示場所は当日に指示がありますか。また、報告書には記載する欄が見当たりません。どこへ記入すれば良いでしょうか。

3　p. 5に記載の試料水についてですが、市販のミネラルウォーターを混合したものと決められていることから、試料水を水道へ流す（廃棄する）ことは差し支えないでしょうか。

4　p. 8に記載の報告書１について、切り取り線以下のEDTA標準溶液のファクターのメモ（控え）は、競技終了時に提出しなければなりませんか。

【　回答　】令和８年(2026年)11月２日回答
1　「計算メモ用紙（計算用紙)」は、A4 判の白紙１枚を予定しています。薬品で汚れたり、水で濡れたりした場合などは、追加で配布することも可能です。なお、計算用紙の電子データについては、11 月２日に化学分析部門競技実行委員会事務局から各出場校へ送付します。

2　p. 6（7）に記載の天候、室温、湿度等の環境項目については、記入しないことに変更します。これに伴い、p. 6（7）の記載を削除します。

3　競技説明の際に指示します。

4　報告書１（EDTAのファクターとラベル）の切り取り線以下に記載するEDTA標準溶液のファクターのメモについては、競技終了時に提出する必要はありません。